

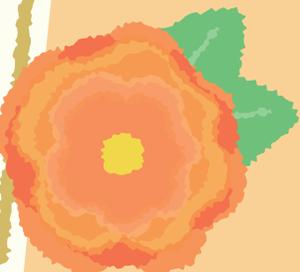
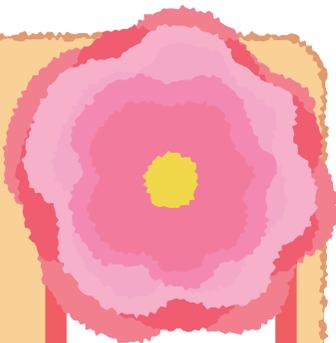
まなびのたより

令和八年三月十三日発行



佐藤一斎學びのひろば

「一斎先生からあなたへ」
卒業生へ贈る言葉



卒 業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。三月は旅立ちの季節。そこで今回は、『言志四録』の中から新たな世界へ飛び立つ卒業生の皆さんへ向けた、一斎先生のことを紹介していきたいと思えます。



卒業証書

一燈を提げて暗夜を行く。

暗夜を憂うること勿れ。

只だ一燈を頼め。

言志晩録十三条

大丈夫、あなたの信じた道を
まっすぐに進みなさい

一張りの提灯をさげていけば、夜の道、暗い闇も怖がることはありません。自分の足元を照らす。その明かりを頼りとして進めばよいからです。自分自身の生き方を信じて進む人は、どんな時代や環境においても惑うことなく、自信を持って自らを使命に向かって進むことができます。自分を信じられない者は、暗い夜道を明かりなしで迷うようなものです。



卒業証書

学者は志大にして、

工夫は則ち

皆小ならんことを要す。

言志差録二十七条

あきらめない限り、
夢は必ず近づいてきます。

こんな人になりたいという大きな夢を持つことは大切なことです。しかし、その夢を実現するためには、どんなに小さなことでもいい加減にしては上げられません。「大」を成すためには、「小」を積み上げていくことが大事であり、小さな「歩」を抜きにして「大」は成らないのです。



絆

卒 業を迎えたみなさんは、進学、就職など、それぞれの道へ進んで行くと思います。時には困難にぶつかることもあるでしょう。しかし、諦めずに夢や目標へ進んで行けば、その努力は必ず自分に返ってきます。みなさんひとりひとりが、夢や目標に向かって素晴らしい旅立ちを迎えられることを願っています。

春の風物詩

ひな飾りの展示、はじめました

岩村町では、毎年ひなまつりの時期になると「いわむら城下町のひなまつり」とよばれるお祭りが開催されます。城下町を中心に三千五百体を超えるおひなさまが展示され、岩村町の春を彩ります。それに合わせて、學びのひろばでも、二月中旬よりひな飾りの展示が始まりました。正面入り口から入って左手には、七段飾りの立派なおひなさま



が飾られており、この季節だけの華やかな雰囲気味わうことができます。「いわむら城下町のひなまつり」は四月三日まで開催されます。城下町のひなまつりをお楽しみになった後は、ぜひ佐藤一齋學びのひろばへ足をお運びいただけると幸いです。

一齋先生のごことは

無は無に生ぜずして、

而も有に生ず。

死は死に死せずして、

而も生に死す。

言志晩録二八八条

— 現代語訳 —

出会いがあるから別れがある。

別れがあるから出会いが生まれる。

今まであったからこそ、「ない」という実感が生まれます。一緒に生きていたということがあったからこそ、「別れ」や「死」ということを実感するのです。どれだけ悲しくとも時は必ず経つものです。そしてまた、新しい出会いが生まれるのです。

公開講座

「一齋先生が教える」

若い先生へのメッセージ」

■日時：令和八年四月二十六日(日)

十三時半～十五時半

■場所：佐藤一齋學びのひろば

セミナールーム

楽しく自ら学び、仲間と支え合う学級を目指すにはどうするべきか。褒めるとき、叱るときのタイミングや言葉など、先生の教えは、時代が変わっても通じることがたくさんあります。多くの学校を見てきた経験を交えて話します。

■講師：大畑雅幸氏 ■定員：四十名

■受講料：無料(受講の際に入館料五百円をご負担いただきます)

■応募方法：佐藤一齋學びのひろばの受付窓口、またはお電話よりお申込みいただけます。電話番号：0573-4312150

本年度から、新しい公開講座のメニューを提供します！

本年は、年六回の講演に加え、一齋先生や言志四録に関連させながら、企業や組織のリーダーや子育て中の保護者、Uターンし起業を考えている若者向けなど、多様なニーズに応える講座を行います。出張講座も承ります。



佐藤一齋學びのひろば

〒509-1704-3

岐阜県恵那市岩村町545番地1

☎0573-4312150

✉info@issai-manabi.jp

🌐https://issai-manabi.jp/

ご利用案内

開館時間：午前九時～午後五時

(最終入館は午後四時三十分)

休館日：水曜日(その日が休日の場合はその直後の平日)

年末年始(十二月二十九日～一月三日)

詳細はこちら

